

モルドバ月報

2021年12月〔モルドバの報道をもとに作成〕

令和4年1月5日 在モルドバ大使館

【主な出来事】

- 12日、トランスニストリア「大統領」選挙が実施され、現職のクラスノセルスキ氏が再選した。

1. 内政

● 2022年予算の第2審議終了

6日、議会は、2022年予算の第二審議を終了した。

● グリーンへの移行・エネルギー安全保障の諮問委員会の立ち上げ

10日、サンドゥ大統領は、グリーンへの移行・エネルギー安全保障の諮問委員会立ち上げを決定した。同委員会は、首相、議会議長、外相や環境相等の関係閣僚、エネルギー規則庁長官、税務庁長官等から成る。

トランスニストリア関連

● OSCE 年次外相会合開催

3日、ストックホルムで開催された第28回 OSCE 年次外相会合において、トランスニストリア紛争の5+2の枠組みを通じた解決プロセスに関するステートメントが採択された。これに対しトランスニストリア外務省は、トランスニストリア地域の意見を無視した不完全なステートメントである、と反論した。

● クラスノセルスキ現職「大統領」の再選

(1) 13日、トランスニストリア「大統領」選挙が行われ、クラスノセルスキ現職「大統領」が79.4%を獲得して再選した。

(2) 18日、モルドバ外務・欧州統合相は、クラスノセルスキ「大統領」の就任式への駐モルドバ露大使の出席に関し、「非友好的な行動であり、そのような行動はトランスニストリア紛争の解決につながらず、二国間関係の発展にも寄与しない。」という趣旨の声明を発表した。

● トランスニストリア「大統領」の露大統領府副長官との面会

21日、モスクワを訪問したクラスノセルスキ・トランスニストリア「大統領」は、コザク露大統領府副長官との面会において、ティラスポリとキシナウの間で、5+2協議を再開することの重要性を直接議論することが必要である点を強調し、キシナウはティラスポリ側の対話再開の要求を無視し続けている、と発言した。

● トランスニストリア「大統領」の露大統領府副長官との面会

21日、Solidarity Civic Society Platform（OSCE加盟国の90の組織からなる団体。モルドバのPromoLexも含む。）は、トランスニストリア紛争解決において、モルドバのOSCE代表の能力の欠如、及び5+2和平プロセスにおけるロシアが信頼のおける仲介役になれないという趣旨の声明を発表した。

● トランスニストリア「大統領」によるサンドゥ大統領への5+2プロセス再開要求

24日、クラスノセルスキ・トランスニストリア「大統領」は、サンドゥ大統領に対して、キシナウの姿勢によって5+2プロセスが進まなくなっており、早急にプロセス再開を提案するメッセージを発表した。

● ザハロフ露外務省報道官による5+2プロセス再開要求

25日、ザハロフ露外務省報道官は、ロシアは支援の準備ができており、モルドバ政権に対して5+2プロセス再開に向けて建設的アプローチを要求した。（27日、ルデンコ露外務省副大臣からもインタビュー中に同様の発言あり。）

コロナ関連

28日現在の国内感染者累計37.8万人

28日時点の国内における新型コロナウイルス感染者数は累計374,763人。死者は9,625人。

2. 外政

- **EU—モルドバ議会連合評議会の開催**

2日、キシナウにおいてポプショイ・モルドバ議会副議長及びムレシアン EU 議会議員を共同議長とする EU—モルドバ議会連合評議会が開催され、司法改革、エネルギー安全保障、経済発展、パンデミック等につき協議された。

- **欧州評議会による軍事分野への7百万ユーロの支援決定**

2日、欧州評議会は、モルドバの軍事、国防分野での能力強化を目的とした7百万ユーロの支援を決定した

- **ポベスク外務・欧州統合相のストックホルム訪問**

(1) 2日、ポベスク外務・欧州統合相は、ストックホルムで行われた第28回 OSCE 年次外相会合出席し、トランスニストリア紛争に対する包括的な解決策を特定するというモルドバ当局の決意を表明した。

(2) 2日、同大臣は、ブリンケン米国務長官と会談し、様々な分野での二国関係の発展及びトランスニストリア紛争の解決及び東欧の現況について議論した他、司法、法の支配、貿易及びエネルギー安全保障の分野でのワーキング・グループ創設の必要性についても議論した。

(3) 2日、同大臣は、GUAM 外相会合に出席し、右地域の案件実施におけるモルドバの関心を表明した。モルドバは、2022年GUAM議長国。

(4) 3日、同大臣は、ジョアナ NATO 事務次長と会談し、NATOからのモルドバの民主主義改革、安全保障分野での近代化へのこれまでの支援に感謝を表明した。ジョアナ NATO 事務次長からは、モルドバの主権尊重、国土の統一及び中立への支援が改めて表明された。

(5) 同大臣は、ストックホルムにおいて、上記会談の他、次の国の外相ともそれぞれ会談を行った：スウェーデン、ポーランド、エストニア、アイルランド、デンマーク、オーストリア及びカザフスタン。

- **ガブリリツァ首相のルーマニア訪問**

(1) 9日、ルーマニアを訪問したガブリリツァ首相はチウカ・ルーマニア首相と会談し、道路や橋梁建設等のインフラ案件や、エネルギー連結性、昨年3月に期限切れとなったルーマニアからの支援の合意書、ローミング料金の値下げ等について協議した。ガブリリツァ首相は、モルドバのEU加盟が優先事項である旨を強調した。

(2) 同日、ガブリリツァ首相は、ルーマニアの大統領、下院議長及び上院議長ともそれぞれ会談した。

- **リトアニア首相の当地訪問**

(1) 10日、当地を訪問したシモニーテ・リトアニア首相はガブリリツァ首相と会談し、EUへの加盟も含むモルドバへの引き続きの支援を表明した。

(2) 今回の訪問中に、シモニーテ首相は、サンドゥ大統領及びグロス議会議長とも会談を行った他、両国外相間のガバナンス分野での能力強化の覚書に署名がなされ、同分野に対するリトアニアからの35万ユーロの支援が表明された。

- **グロス議会議長及び中国友好議連会長の当地訪問**

14日、グロス・モルドバ議会議長、ボレア・モルドバ中国友好議連会長は、Zhanshu 中国・モルドバ友好議連会長とオンライン会談を行い、貿易、投資、インフラ、教育、文化、エネルギー、環境、IT 分野等での特に議会間での協力の可能性について議論した。

- **米国からのモルドバへの軍事物資援助第二弾の到着**

14日、米国からのモルドバへの軍事物資の援助第二弾が到着した。今回到着した軍用品は、平和維持軍間での相互運用性を高める目的のものであり、2014年からのコソボでの平和維持活動等で使用される予定。

- **サンドゥ大統領及びポベスク外務・欧州統合相によるブリュッセル訪問（東方パートナーシップサミット出席）**

(1) 15日、ブリュッセルで行われた東方パートナーシップの場でサンドゥ大統領は、モルドバのEU加盟の意欲を表明し、改革と経済発展のためにEUからの支援が必要である旨述べた。

(2) サンドゥ大統領は、ブリュッセルにおいて、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長、ボレルEU外務・安全保障政策上級代表兼欧州委員会副委員長、アゼルバイジャン首相、アルメニア首相、フィンランド首相、ブルガリア首相、リトアニア大統領等と会談を行った。

(3) 15日、ポベスク外務・欧州統合相は、ガス危機の際のEUからの資金援助に関する合意書、EBRD及びEIBからの資金援助に関する合意書に署名した。

- **露外務省報道官によるロシア人の強制送還に対する声明発表**

15日、ザハロフ露外務省報道官は、11日に10名のロシア人がモルドバからロシアに送還されたことに対し、「モルドバ当局は、トランスニストリアでの選挙を恐れており、渡航理由にかかわらずロシア人を送還した。キシナウはそのような非友好的な措置を慎むべきであり、そのような措置には必ず反応が伴う。」とメッセージを発表した。

- **インフラ相のルーマニア訪問**

16日、ルーマニアを訪問したスプヌ・インフラ相は、ヴァルチャヌ・ルーマニア投資EUプロジェクト相及びポベスク・ルーマニア・エネルギー相と会談し、各分野での協力等について議論した。

- **モルドバの2022年中央自由貿易協定議長国の発表**

17日、モルドバが2022年に中央自由貿易協定議長国になることが発表された。

- **EUによる250万ユーロのモルドバ地方都市への援助**

22日、ガブリリツァ首相は、モルドバ7都市の発展のためにEUから250万ユーロが与えられること合意書の署名式に出席した。

- **新駐モルドバ中国大使の着任**

26日、Yan Wenbin 新駐モルドバ中国大使が着任し、中国大使館のFBに「2022年が両国の外交関係樹立30周年である旨述べつつ、一帯一路イニシアティブ及び両国リーダーのイニシアティブの下、両国間関係の深化を期待する」という趣旨のメッセージを発表した。

- **サンドゥ大統領によるNATO加盟の可能性の否定**

28日、サンドゥ大統領は出演した討論番組で、モルドバのNATO加盟の可能性を否定した。

3. 経済

- **年間の基本金利引き上げ率1%～6.5%へ**

3日、国立銀行は、基本金利を年間1%～6.5%引き上げる決定を承認した。消費者物価の上昇鈍化及び貯蓄の刺激が目的。

- **2021年第3四半期労働力**

6日、国家統計局は、2021年第3四半期の労働者数が90万8,300人（前年同期比1.6%増）になったと発表した。88万5,700人が雇用され、2万2,600人が失業中。失業率は2.5%。

- **2021年11月、平均消費者物価上昇**

10日、国家統計局は、今年11月の平均消費者物が前年同期比12.44%と発表した。内訳は、食品15.49%増、非食品11.28%増、サービス9.65%増。公共料金が最も上昇し、対前月比でガスは80.6%、暖房は18.7%、温水は11.4%増。

- **2021年1月～10月貿易統計**

15日、国家統計局は、2021年1月～10月の輸出総額が24.5億ドル、対前年同期比23.6%増と発表した。同期の輸入総額は57.2億ドル、対前年同期比32.2%増。貿易赤字は29億ドルで39.5%増。

同年1～10までの日本への輸出は2.9百万ドル、前年同期比70%増。日本からの輸入は54.1百万ドル、24.6%増。

- **2021年第3四半期GDP**

15日、国家統計局は、2021年第3半期のGDPが698億レイ（38億ドル）、前年同期比8.3%増と発表した。

- **EU、モルドバからの乳製品輸出を初めて承認**

16日、EU評議会は、生乳、乳製品、初乳製品の輸出可能国一覧に初めてモルドバを入れた。

- **2021年1～10月工業生産統計**

20日、国家統計局は、2021年1月～10月の工業生産が前年同期比12.6%増と発表した。電気・温水・ガス・空調等が18.4%増、製造業11.8%、鉱業11.5%増等。

- **2021年1～11月海外送金12億ドル**

22日、国立銀行は、今年1～9月、海外からの送金が14.7億ドル、前年同期比10.1%増と公表した。

4. 経済協力

- **E I Bからの30百万ユーロ融資を承認**

8日、内閣はエネルギー効率化プロジェクトに、E I Bから30百万ユーロの融資を受ける契約への署名を承認した。本プロジェクト期間は2021年から2025年。

- **E I B鉄道リハビリ、24百万ユーロ融資増を承認**

14日、内閣はE I Bとの鉄道リハビリ契約の融資額を24百万ユーロ増額する契約改定への交渉と署名を承認した。2016年に50百万ユーロの融資で締結した時からの改定内容は、融資額と2021年9月26日から2026年12月31日への期限延長。

- **I M F理事会、対モルドバ新規プログラム承認**

10日、I M F理事会は、40ヶ月で564百万米ドルの対モルドバ経済改革プログラム及び第1トランシェ84.4百万ドルを承認した。本プログラムの目的は景気回復の継続、ガバナンスや制度改革。I M Fは前提条件である中央銀行の独立性保護の重要性を強調した。

- **E B R D、暖房システム近代化に融資**

24日、E B R D代表者とスプヌ副首相は「E B R Dグリーンシティ・フレームワーク」の一環として、バルツィにおける暖房システム近代化の融資契約に署名した。これにより、国営企業C E T N o r dは17百万ユーロの融資を受ける。

5. 対日関係

- **駐日新モルドバ大使の信任状捧呈**

22日、ソコラン駐日新モルドバ大使は、天皇陛下に信任状を捧呈した。